

特許

- ◆請求記号：図書館資料の背に貼られたラベルの番号。図書館の資料は請求記号順に並べられています。いわば本の住所のようなものです。
- ◆DB：データベースは学内のネットワーク環境で利用することができます。ほとんどのデータベースは、VPN接続により学外からも利用可能です。詳細は法政大学図書館 HP (<http://www.hosei.ac.jp/library/>) 「オンラインデータベース」より確認してください。

特許 (Patent) は、発明者に発明に対する独占権を与え、発明者はその権利を得ることと引き換えに特許を公開し、産業の発達を促します。

特許は工学、生命科学をはじめ多くの分野で研究上必要な資料となっており、また、大学としても積極的に特許取得を進める傾向にあります。一つの発明を複数の国へ出願することも多く、国際的にどうなっているかという視点で調べる必要があるでしょう。

特許の検索は、インターネットを利用したり、公報を直接調べたり、また、調査機関に依頼する方法があります。このパスファインダーでは、日本の特許、外国の特許について、主としてインターネットや本学で契約しているデータベースを利用した、技術内容がわかる明細の入手方法をご案内します。

なお、特許制度は公開の目的もあるため、他の資料と比較して明細のフルテキストをウェブサイトから入手できることが多いのが特徴です。

国際出願された特許の検索、本文入手ができ日本語インターフェースによる検索が可能です。

■国を横断できるツールで検索

ヨーロッパ特許庁 EPO : espacenet

<https://www.epo.org/searching-for-patents/technical/espacenet.html>

ヨーロッパに限らず、日本特許や米国特許、PCT特許 (国際特許) も含め、全世界50ヶ国以上の特許を収録しており、フルテキストを入手できるものもあります。検索対象を Worldwide にすることで特許の横断検索が可能になり、国際特許間の関係を調べることもできます。日本語インターフェース、使い方が学べる日本語の e-learning のページもあります。

espacenet 日本語インターフェース

https://worldwide.espacenet.com/?locale=jp_EP

■各国のツールで検索

■特許明細書の入手

入手までの基本的手順

■番号から国を特定

まずは、詳細を入手したい特許がどこの国のものであるかを識別します。国はアルファベット2文字でコード化されており、特許庁のホームページの「PCT加盟国一覧表」で確認できます。

<https://www.jpo.go.jp/system/patent/pct/siryu/kokusai2.html>

※主な国コード

コード	国名	
GB	英国	United Kingdom
US	米国	United States of America
FR	フランス	France
RU	ロシア	Russian Federation
CA	カナダ	Canada
JP	日本	Japan
AU	オーストラリア	Australia
KR	韓国	Republic of Korea
IT	イタリア	Italy
CN	中国	China

■国際出願された特許の検索

- ・世界知的所有権機関 WIPO : PATENTSCOPE

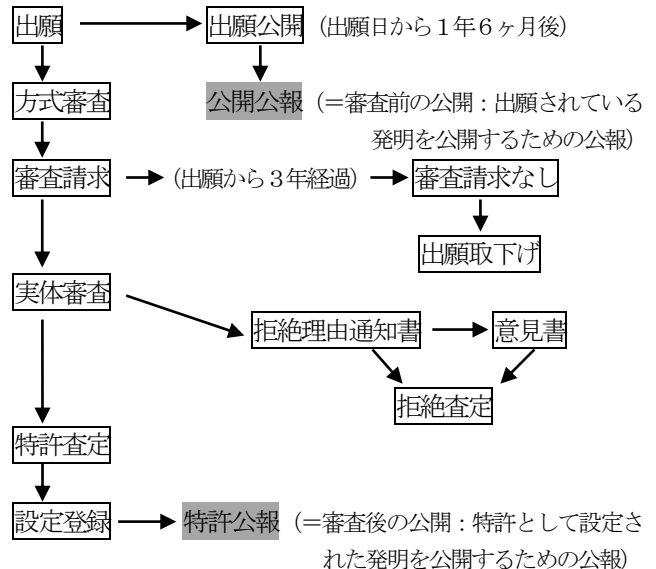
<http://www.wipo.int/patentscope/en/>

特許申請の流れと特許番号の付与

特許は出願から登録 (特許権の取得) まで、通常何年もかかりますが、研究開発動向を知る上で、出願段階での情報を知ることが大変重要になります。特許文献の入手方法に先立って、特許取得までの流れを理解しておくとうまいでしょう。また、文献入手に便利な特許番号の付与についても理解しておきましょう。

以下に日本の例を紹介します。

■特許申請の大まかな流れ



■特許番号の付与

特定の特許文献は、その特許に付与された番号を知っていれば、簡単に検索することができます。特許の番号は、原則として出願、公開、登録の審査段階それぞれで付与され、審査段階、年、通し番号で構成されます。

例) 発明者：吉本 健
出願人：株式会社 東芝
発明の名称：半導体集積回路
⇒ 出願番号 (特願)：特許出願 2002-013439
公開番号 (特開)：特許公開 2003-216453
特許番号 (特許)：特許 4021670

※ () 内は略称

「特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)」の「特許・実用新案検索」の「特許・実用新案番号照会」から各番号を相互に検索できます。

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0000>

参考文献の表示(日本・外国)

特許文献を、論文の参考文献に掲載されている情報から探す場合、まず、参考文献に掲載されている情報の種類が特許であることを判別しなくてはなりません。以下に、日本と外国特許の参考文献掲載例を記しました。日本の場合は、「特許公開」「特開」、外国の場合は、「Patent」「Pat.」および国コードが記載されていれば特許と考えて良いでしょう。

■日本の特許の場合

例) 法政大学、岩月正見ほか、講義コンテンツ自動
出願人 発明者 発明の名称
生成システム、特開 2006-162692 2006-6-22、
番号 公開日

出願人：特許の権利者（発明者が所属する企業や大学、学長名等）

発明者：発明した研究者の名前

番号：審査段階の略称・年・通し番号で構成（上記の例では、特許公開公報で 2006 年の 162692 番目のもの）

公開日：公開特許公報等の発行の日付

■外国の特許の場合

例) Storck, M. ; Mertin, T. Bicycle crank, US pat.
発明者 発明の名称 アメリカの特許
US6202506, 2001
特許番号 年

「pat.」「patent」やUS、FR、JPなどの国コードがあれば、特許をあらわす参考文献です。複数の国へ出願した場合は、特許番号を複数持っています。

※PCT (Patent Cooperation Treaty : 特許協力条約) 制度についてひとつの出願書類を条約に従って提出することで、PCT加盟国であるすべての国に同時に特許を出願したと同じ効果を与える制度。WIPO (World Intellectual Property Organization : 世界知的所有権機関) が事務局となっており、「WO」で始まる番号が付与される。上記例も、WO9743167 番号を別に持っています。

日本の特許検索と入手方法

➤ 特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

「独立行政法人工業所有権情報・研修館」による特許に関する情報検索サイト。明治以降に発行された特許・実用新案・意匠・商標とその関連分野について検索できます。

＜参考＞パンフレット・マニュアル・講習会テキスト等
http://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/reference/index.html

➤ (独) 工業所有権情報・研修館

<https://www.inpit.go.jp/index.html>

国内・海外で発行される CD-ROM、DVD 公報や紙媒体の公報の閲覧、並びに審査資料に必要な文献の閲覧ができます。また、特許流通促進事業の一環として、企業や研究機関・大学等が保有する特許をデータベース化し、「開放特許情報データベース」として無料で公開しています。

<https://plidb.inpit.go.jp/>

➤ J-STORE (科学技術振興機構 研究成果展開総合データベース)

<https://jstore.jst.go.jp/index.html>

JST で得られた研究成果および大学や公的研究機関等の研究成果のうち、ライセンスが可能な公開特許情報および未公開特許情報等を検索できるデータベースです。

外国の特許検索と入手方法

まず、WIPO の国際出願された特許を検索できるツール、EPO の複数の国を横断して検索できるツールを使用して検索し、入手できない場合は、各国の検索ツールを使用すると良いでしょう。

➤ WIPO、EPO による検索

WIPO、EPO による検索については、p. 1 を参照してください。

・WIPO 世界知的所有権機関

<https://patentscope2.wipo.int/search/en/search.jsf>

・EPO ヨーロッパ特許庁

<https://www.epo.org/searching-for-patents/technical/esp-acenet.html>

➤ 各国の特許検索

・特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage>

「外国公報DB」：各国 (アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スイス、カナダ、中国、韓国、EPO、WIPO) の特許文献を文献番号から参照し、PDF での入手が可能です。

➤ アメリカの特許検索

・Patent Full-Text and Full-Page Image Databases

USPTO (United States Patent and Trademark Office : アメリカ特許庁) の検索ツール

<https://www.uspto.gov/>

- ▶ 諸外国特許庁のホームページ

<https://www.jpo.go.jp/toppage/links/others.html>

日本と同様に、各国で自国の特許検索ツールが公開されています。

その他関連サイト

- ▶ 特許流通支援チャート

<https://www.inpit.go.jp/katsuyo/archives/archives00007.html>

(独) 工業所有権情報・研修館が発行した特許マップ。過去 10 年間の特許情報を分析し、その動向をビジュアル化したものです。

- ▶ 国立国会図書館リサーチ・ナビ「特許」

<https://rnavi.ndl.go.jp/stm/post-42.php>

特許関連資料(図書・雑誌)を探そう

法政大 OPAC で、本学図書館の蔵書を調べることができます。資料の所蔵の有無、配架場所、請求記号がわかります。

■ 図書

(一例)

資料情報 (書誌情報)	配架場所	請求記号
競争力を高める化学・材料系特許明細書の書き方 / 志賀国際特許事務所知財実務シリーズ出版委員会編, 発明推進協会, 2019	小・2 閣 B1F	507.2/C49/5
競争力を高める機械系特許明細書の書き方 / 志賀国際特許事務所知財実務シリーズ出版委員会編, 発明推進協会, 2018	小・2 閣 B1F	507.2/C49/4
特許出願かんたん教科書 : とっても簡単! 自分で書ける「特許願」 / 中本繁実著, 中央経済社, 2017	小・2 閣 1F	507.2/N36
特許を取ろう! : 技術者・研究者へ贈るコツとテクニック / 宮保憲治, 岡田賢治共著, 東京電機大学出版局, 2017	小・2 閣 1F	507.2/Mi73
完全マニュアル! 発明・特許ビジネス : 発想から特許出願・商品化までノウハウ教えます / 中本繁実著, 日本地域社会研究所, 2017	小・2 閣 1F	507.1/N36
技術者・研究者のための特許検索データベース活用術 : 特許調査、検索、分析の実際 / 小島浩嗣著, 秀和システム, 2017	小・2 閣 1F	507.2/Ko39
特許法 / 中山信弘著, 弘文堂, 2016	小・2 閣 1F	507.2/N45
日中英特許技術用語辞典 / 立群専利代理事務所, 志賀国際特許事務所編, 経済産業調査会, 2015	小・2 閣 1F	507.2/R48:R

■ 雑誌

資料情報 (書誌情報)	配架場所	請求記号
特許研究=Patent studies / 発明協会	市図逐刊	A7g/956
特許 : the patent magazine / 弁理士會	市:B1F 新着(逐刊) 多:逐刊(和)	A7f/70:CURRENT ONLY A7f/70:BACK ONLY

論文・雑誌記事を探そう

記事索引データベースを使って、雑誌記事の検索ができます。図書館 HP の「オンラインデータベース」よりアクセスして下さい。

DB CiNii Articles

学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービスです。一部の論文は、PDF で本文を閲覧できます。

DB MAGAZINEPLUS

国内最大の雑誌・論文記事のデータベースで。一般週刊誌から学術雑誌まで幅広く採録されています。

<こんな雑誌記事が検索できます>

- ・大嶋 洋一 (2020) 「イノベーションを引き起こす特許心得」『応用物理』 89(8), p. 451-455
- ・平嶋 竜太 (2020) 「機械学習・深層学習関連発明がもたらす特許法における新たな諸課題」『特許』 73(8), p. 163-188
- ・井上 慎一 (2020) 「植物の特許」『特許』 73(6), p. 7-16
- ・本多 誠一 (2020) 「デザイン保護の新たなスタートに寄せて」『特許研究』 69, p. 2-6